

時の権力者に恐れられて抹殺された忍の生き残りである吉光。彼は復讐のために最強の剣ソウルエッジを追うが、その過程でナイトメアの殺戮した跡に幾度も遭遇し、復讐の無常さに気付く。やがてナイトメアの居城に辿りつくが、そこには既に人の気配はなかった。しかし、その地に残っていた怨念の影響で、彼の刀が禍々しき気を宿し始める。彼はその刀に己の名「吉光」を冠し、負の気を静める決意をする。だが、その妖刀は何者かによって盗まれてしまう。その後、吉光は刀を探しながら大陸を巡り、弱きものを守る生活を送っていた。4年後、貧富の差を少しでも打開するため、マネービットと呼ばれる墓へ侵入する。そこで吉光は財宝と共に失われた刀を発見し、さらに玉座の上で愛刀が宿したものと同じ邪気を放つ金属片を発見した。このような邪気を帯びた品が多数残っているのであれば、それらは全て摘み取らなければならない。あのような悲劇を二度と繰り返さないためにも。



*Yoshimitsu*  
吉光

## コンクエストモード

4つの勢力のいずれかに属して自分のキャラクターを育てていくモード。このモードでは勝敗に関わらず8人のCPUキャラクターと対戦できる。そして、結果に応じてプレイヤーの動きをキャラクターが学習し、パワーアップしていくのだ。また、戦う度に経験値が得られ、一定値に達すると称号も変化していくぞ。



まずはキャラクターを登録することから始まる。(登録キャラクターはその基板のみで有効)



戦って勢力を伸ばしていこう。他プレイヤーが自軍に攻め込んできた時には、自分のキャラクターがCPUとして登場する。

# SOUL CALIBUR II

ソウルキャリバーII

アミューズメントスペースで好評稼動中の『ソウルキャリバーII』。今回はタイムリリースで追加される要素を紹介しよう。



*Gervantes*  
セルバンテス



かつて雌雄二本のソウルエッジに操られ殺戮を繰り返した大海賊・セルバンテスは、神の啓示を受けた聖戦士との戦いに敗れ、片方のソウルエッジも破壊された。だが、それでもセルバンテスの魂は解放されなかった。その後、ソウルエッジの新たな宿主が彼の亡骸の元を訪れた時、身体に食い込んだ邪剣の破片が共鳴を始める。活性化した破片はまるで生物のように死体の中を蠢きまわり、彼は再び蘇ったのだ。彼は邪剣の破片を己が一部とすることで世界に散らばった破片の共鳴を聞き取り、邪剣がどこに存在するのかを知った。しかし、最も大きな気配に近づいた時、もう片方のソウルエッジまでもが砕かれてしまう。その地で新たな破片を手にする、それはセルバンテスの身体と共鳴を起こし、手の中で一つに溶け合っていた。それから4年。彼は強者の魂を奪い、新たな欠片を得ながらソウルエッジの力を徐々に高めていくと、手の破片は剣の形になっていき邪気を放ちはじめた。しかし彼は以前とは異なり、邪剣の欠片を体内に持つことで精神を侵されることなく邪剣を握ることが出来たのだ！いつ、どの間の中から邪剣を携えて彼が現れるのか。それを知るのとはただ一人、セルバンテス本人だけである…。



*Charade*  
シャレード

その男の一生は決して輝かしいものではなかった。だが、男は遂に成功への手がかりを掴むことに成功する。流れの商人からお守りと称される金属片を有り金全てを使って手に入れたのだ。最強の武器ソウルエッジ。…彼の目の前に今この瞬間、追い求めてきた物がある。彼は妙な確信を以って、この金属片こそがソウルエッジの一部だと信じていた…。しかし、金属片を大事に扱はずが結果、高価な品を溜め込んでいるという噂が流れ、彼は盗賊に殺されてしまう。もちろん盗賊達の目にかなう品なぞ彼は持っておらず、盗賊達は死体を谷へ投げ込んで去っていった。しかし、凄まじい彼の執着は死んでなお金属片をしっかりと握らせていた…。そして数ヶ月、彼の手に残った破片が全て無くなっているのに気付いた者はいなかった。ただ何かが違っていったような跡が死者達の脳に残されていたが、それもやがて降り出した雨によって消えてしまった…。その生物、いや生物かどうかは定かではないが、それは確実に歩いていて、…己の意思で、それは思考というよりは、本能に近いものだった。

